

【別紙様式3】

再評価実施事業調書

番号	1	事業名	社会資本整備総合交付金(道路事業)		路線又は箇所名等		主要地方道成東酒々井線 八街バイパス		
事業所管課		道路整備課		事業主体		千葉県			
事業化年度	平成5年度	用地着手年度	平成7年度	工事着手年度	平成25年度	工事終了(認可)年度	令和10年度	再評価の理由	再々評価
費用便益比 B/C	1.8 (14.4)	総費用	88億円 (2億円)	総便益	156億円 (31億円)	基準年	令和5年度	供用開始年度	令和10年度

※上段：全体事業 下段（ ）：残事業

【事業概要】

(目的)

主要地方道成東酒々井線は、県北部の中央に位置する八街市を横断しており、市街地を中心にして当該路線や国道409号を含む幹線道路など8路線が放射状に形成されていることから、慢性的な交通混雑が発生しており、地域の経済発展や住民生活に支障をきたしている。

各路線とも沿線に住居等が密集しており、現道幅が困難となっていることから、バイパス整備により、交通混雑の緩和を図る。

(実施内容)

- ・総事業費：45億円
- ・事業延長：L=1.7km
- ・事業期間：平成5年度～令和10年度

【事業の進捗状況】(令和5年度末見込み)

	全体計画(億円)	投資事業費(億円)	残事業費(億円)	進捗率(%)
全体	45	43	2	95

【社会経済情勢等】

- ①八街十字路や五区交差点が主要渋滞箇所に特定されている。
- ②死傷事故件数は5か年平均で9.6件発生している。
- ③通学路に指定されているが、歩道が狭く交通量も多いため危険な状況である。

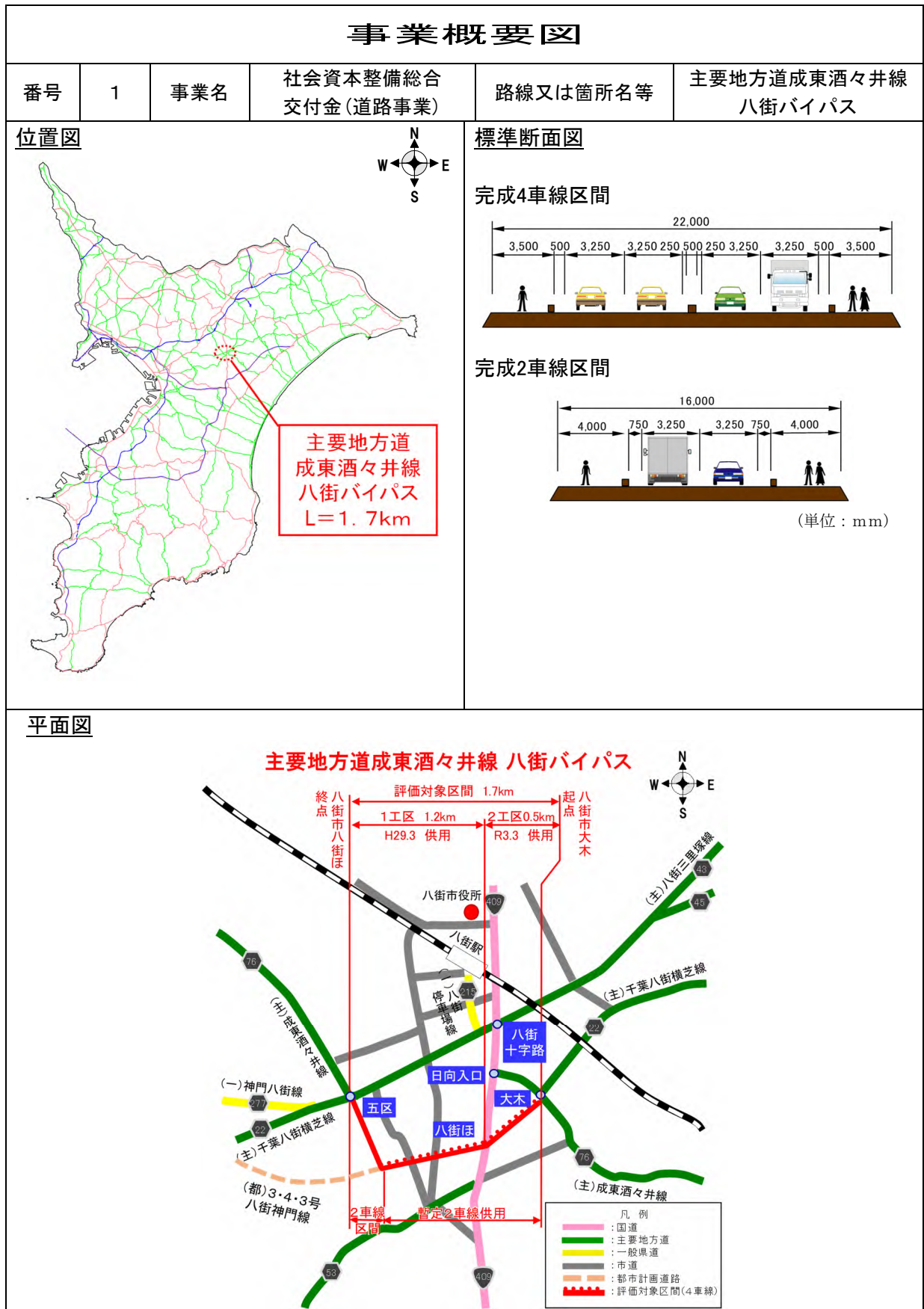
【対応方針(案)】

継続

主要地方道成東酒々井線 八街バイパスは、全体事業の費用便益比(B/C)が1.8(残事業14.4)であり、事業の投資効果が見込まれる。

整備効果として、交通の分散による走行時間短縮及び渋滞緩和、現道の交通量減少に伴う安全性の向上が期待される。用地買収が概ね完了しており、着実に事業を推進していることから、事業を継続し効果の早期発現を目指す。

【別紙様式 4】



【別紙様式5】

再々評価事業に関する調書

番 号	1	事 業 名	社会資本整備総合 交付金(道路事業)	路線又は箇所名等	主要地方道成東酒々井線 八街バイパス
事業化年度	平成5年度	用地着手年度	平成7年度	工事着手年度	平成25年度
【再々評価（前回）の概要】					
再々評価実施年度 (基準年)	令和元年度	供用開始年度	令和6年度	対応方針	継続
B/C	1.2 (16.5)	総費用	72億円 (4億円)	総便益	87億円 (65億円)
(※上段：全体事業 下段()：残事業) 再々評価時の委員会の意見及び当時の状況 継続することが妥当である。					
再々評価時の進捗状況及び再々評価時想定の5年後の進捗状況					
	計 画	進捗状況(R01)	5年後の想定進捗状況		
全体事業費	44億円	40億円(91%)	44億円(100%)		
うち用地・補償費	18億円	17億円(96%)	18億円(100%)		
うち工事費	26億円	23億円(88%)	26億円(100%)		
【再々評価（今回）の概要】					
再々評価実施年度 (基準年)	令和5年度	供用開始年度	令和10年度	対応方針	継続
B/C	1.8 (14.4)	総費用	88億円 (2億円)	総便益	156億円 (31億円)
※上段：全体事業費 下段()：残事業費 現在の進捗状況					
	計 画	進捗状況 (令和5年度末見込み)			
全体事業費	45億円	43億円(95%)			
うち用地・補償費	18億円	17億円(97%)			
うち工事費	27億円	26億円(94%)			
再評価後の経過及び処理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年3月 1工区の暫定2車線開通 ・令和3年3月 2工区の暫定2車線開通 ・工事、用地交渉を継続実施 				